

庄原市における公共交通の課題と課題解決の方向性、目指す姿を実現するための戦略

公共交通の 目指す姿

1. 公共交通により社会参加の機会が確保され、市民が生きがいを持って元気に暮らしている
2. 公共交通によって外出回数が増え、人々の交流が促進されることで、まちが賑わっている
3. 公共交通を使って通学・通勤や通院、買い物の目的で移動できる、地域の特性に応じた柔軟な交通サービスが提供されている

4. 夜間や休日にも公共交通を利用して外出・移動・帰宅できる
5. 公共交通を利用して、近隣の都市との間を移動できる
6. 多様な主体が連携・協働によって、公共交通が持続可能なものとなっている

庄原市における公共交通の課題

- 課題1. 人口構造や産業構造、認識の変化への対応
- 課題2. 新たな需要の掘り起こし
- 課題3. 需要の平準化
- 課題4. 福祉・教育などの分野との役割分担
- 課題5. 地域の拠点機能の充実
- 課題6. 山間部やバス路線から離れた地区の利便性確保
- 課題7. 乗り継ぎの負担軽減
- 課題8. 夜間・休日や観光に対応した移動手段の確保
- 課題9. 公共交通の運行効率化
- 課題10. 新たな技術・知識の活用
- 課題11. 公共交通に関するわかりやすい情報の提供
- 課題12. 公共交通の現状や今後の取組への理解促進
- 課題13. 運転手の不足や高齢化への対応
- 課題14. タクシーなどの車両台数不足への対応
- 課題15. 市の公共交通に対する財政支出の抑制

課題解決の方向性(基本的な方針)

地域特性に応じた 多様な交通サービスの構築

人々の暮らしを支えるため、地域ごとの移動ニーズや生活スタイルに対応した、柔軟で利用しやすい交通サービスを提供します。

広域交通ネットワークの維持・強化

近隣都市との移動手段を確保し、市内交通との接続を改善することで、広域的な移動を支えます。

地域拠点を活用した公共交通の充実

交通結節点となる地域拠点の機能強化・充実を図り、拠点を中心に置いた使いやすい公共交通網を構築します。

まちづくりや他の分野とも連携した 公共交通の魅力向上

福祉・健康・観光等の施策と連携し、公共交通を単なる移動手段としてだけでなく、外出や交流を促進するツールになるよう魅力向上に取り組みます。

利用者の視点に立った情報提供と コミュニケーション

わかりやすい情報提供と地域との対話を通じて、誰もが安心して利用できる環境を整えます。

多様な主体との共創による 持続可能な公共交通の実現

行政・事業者・地域が協働し、効率化と担い手確保により安定的で持続可能な公共交通を構築します。

目指す姿を実現するための戦略

戦略1 地域に適した交通モデルの構築

主な事業: 多様な交通モードによる地域内交通(支線)の構築、公共交通以外の輸送資源活用、移動需要のコーディネート 等

戦略2 拠点の機能強化

主な事業: 交通結節点における利用環境整備、自治振興センター等の交通拠点化、移動需要の創出 等

戦略3 拠点間を結ぶ公共交通軸の確保・強化

主な事業: 都市拠点における回遊性向上、都市拠点へのアクセシビリティ向上、幹線・支線の連携強化 等

戦略4 公共交通を活かしたまちの賑わい創出

主な事業: 観光二次交通ネットワークの構築、観光・交流促進と連携した公共交通の魅力向上 等

戦略5 わかりやすい情報提供と コミュニケーション

主な事業: わかりやすい情報提供、地域住民の参画 等

戦略6 地域交通の人材確保・育成と マネジメント体制の構築

主な事業: 公共交通の担い手育成・確保、新たな運転人材の活用 等

戦略7 交通事業者の経営安定化と 公共交通の効率化

主な事業: 事業継承・経営安定化への支援、新たな収入モデルや多様な料金体系の導入、公共交通の効率化 等

戦略8 計画のマネジメント体制の構築

主な事業: 地域に適した運用体制構築、地域・住民参加型による公共交通づくりの推進 等